

3 特別委員会 市政課題を調査

6月定例会のあらまし

平成28年第2回定例会は6月3日から21日まで19日間の会期で開催し、諮問3件、議案28件、発議案4件が提案され、いずれも原案通り可決しました。なお、議案審議では、平成28年度一般会計補正予算案に対し、緊急雇用創出事業経費を除く修正案が提出されましたが、賛成少数で否決しました。

また、今議会に提出された請願4件はいずれも採択すべきとし、議員発議による意見書を可決、関係機関に送付しました。

地域自治区 調査特別委員会

自治区廃止・存続の メリット・デメリットは

6月7日の委員会では、総務企画部長ほか担当職員の出席を求め、本特別委員会が照会した自治区廃止の理由やメリットなどの調査項目について説明を受けました。

具体の調査項目は大きく7つで、①地域自治区廃止の理由②地域自治区廃止のメリット③一体感の醸成④民意の反映（地域協議会の位置づけ）⑤総合支所のあり方⑥行財政改革⑦廃止に伴う経費等です。

委員からは、自治力の向上や住民参加をさらに促すにはどちらがいいのか。先進事例や自治区廃止の経費負担について、もっと詳しく丁寧な資料を求めたい。恒久設置の場合のメリット・デメリットはどう考えているのか等の発言がありました。

本特別委員会では、今回、質疑で出された詳細資料の提出や再質問の場の設定を要請するとともに、今後、地域自治区を廃止した場合と存続した場合の双方について様々な角度から調査し、議論を深めながら存廃について判断していきたいと考えています。



6月7日の地域自治区調査特別委員会

自治区廃止に伴う経費

住基システム等の変更

9830万円

各種標識看板の変更

300万円

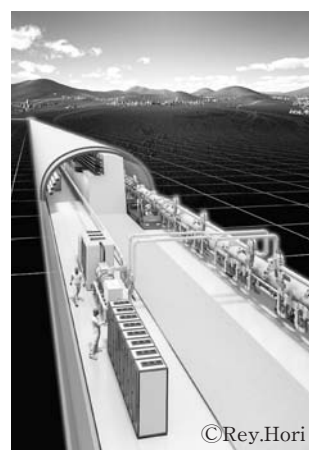
その他（住居表示プレート）

50万円

合計 1億180万円

奥州市 I L C まちづくりビジョンを策定 今後目指すべき将来像と行動指針を示す

ILC 誘致 調査特別委員会



©Rey.Hori

6月16日の委員会では、市長及び担当職員の出席を求め、今年4月に市で策定した「奥州市 I L C まちづくりビジョン」について説明を受けました。

「奥州市 I L C まちづくりビジョン」は、I L C と共生できるような夢と希望にあふれたまちづくりの実現に向けて取りまとめたものであり、ビジョンの位置づけや推進体制のほか、I L C の概要と可能性、目指すべきまちづくりの将来像、魅力ある奥州となるための行動指針などの主要項目が示されています。例えば、地域産業振興に向けた行動指針では、早期に目指す取り組みとして、J R 水沢江刺駅周辺をイノベーション拠点に指定、新たな工業団地の整備、大学のサテライトキャンパスの誘致などの実現を目指すとしています。

また、ビジョンの行動指針に関連する事業などは市総合計画に登載し、各種計画と連携、補完して実現を目指すとしています。